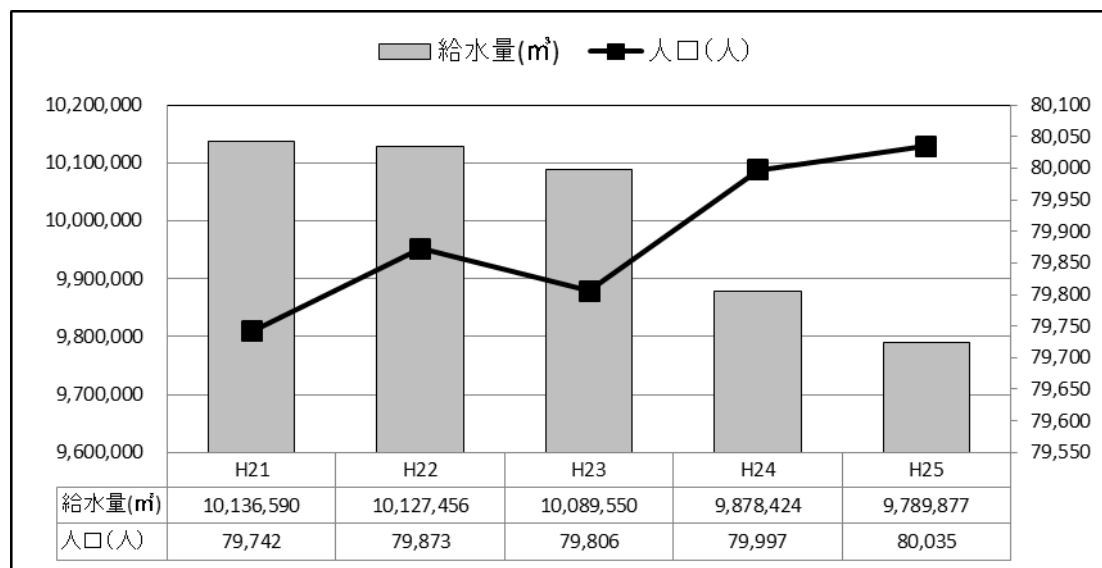
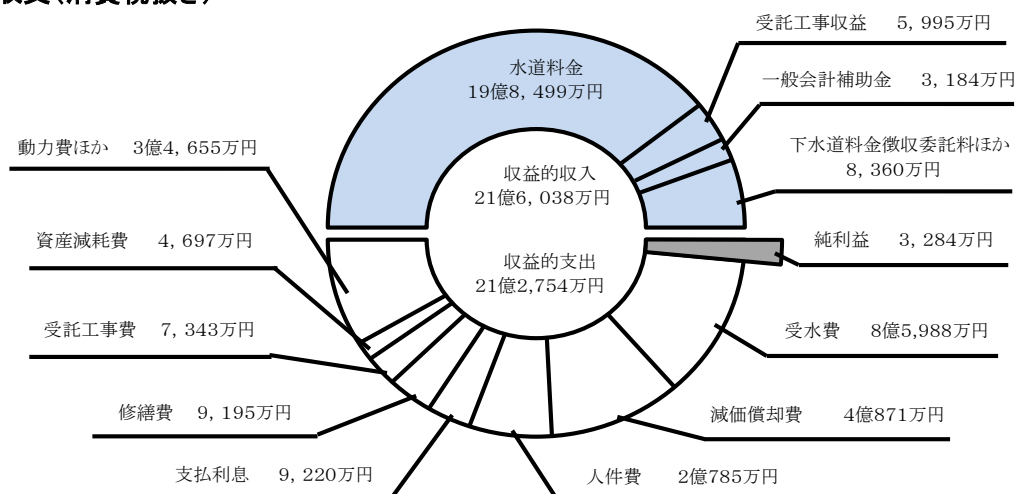


◆給水量と給水人口の推移



◆収益的収支(消費税抜き)



収益的収支は、お客さまからいただいた水道料金や給水管の引き込み工事代金などの収入と、各家庭や店舗・会社・工場等へ水道水をお届けするためにかかる費用や給配水管の工事費、企業債の支払利息、減価償却費などの支出からなります。

収入は、給水収益(水道料金)が19億8,499万円、給水管の引き込み工事料などの受託工事収益が5,995万円、地下水保全等の一般会計からの補助金が3,184万円、下水道使用料徴収受託料などその他の収益が8,360万円で、総額は21億6,038万円となりました。

一方、支出は、京都府営水道の受水費が8億5,988万円、減価償却費が4億871万円、人件費が2億785万円、修繕費が9,195万円、支払利息が9,220万円、受託工事費が7,343万円、資産減耗費が4,697万円、動力費ほかの費用が3億4,655万円で、総額は21億2,754万円となりました。

この結果、収益的収支は、3,284万円の純利益となり、前年度繰越利益剰余金3億6,501万円と合わせ、未処分利益剰余金3億9,785万円を翌年度へ繰越することができました。

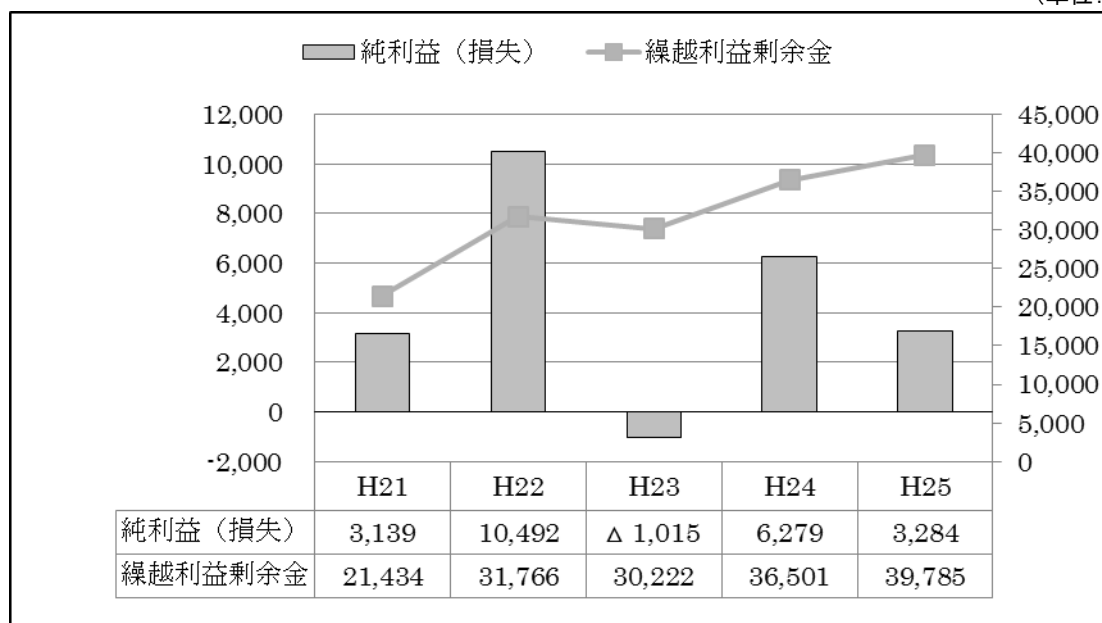
◆収益的収支の対前年度比較

(単位: 万円、%)

区分	H25 年度	H24 年度	増減額	増減率
収益的収入	216,038	214,900	1,138	0.53
水道料金	198,499	197,230	1,269	0.64
受託工事収益	5,995	5,047	948	18.78
一般会計補助金	3,184	4,238	△ 1,054	△ 24.87
下水道料金徴収受託料ほか	8,360	8,385	△ 25	△ 0.30
収益的支出	212,754	208,621	4,133	1.98
受水費	85,988	85,724	264	0.31
減価償却費	40,871	41,382	△ 511	△ 1.23
人件費	20,785	22,276	△ 1,491	△ 6.69
修繕費	9,195	9,299	△ 104	△ 1.12
支払利息	9,220	9,358	△ 138	△ 1.47
受託工事費	7,343	6,519	824	12.64
資産減耗費	4,697	413	4,284	1037.29
動力費ほか	34,655	33,650	1,005	2.99
純利益	3,284	6,279	△ 2,995	△ 47.70

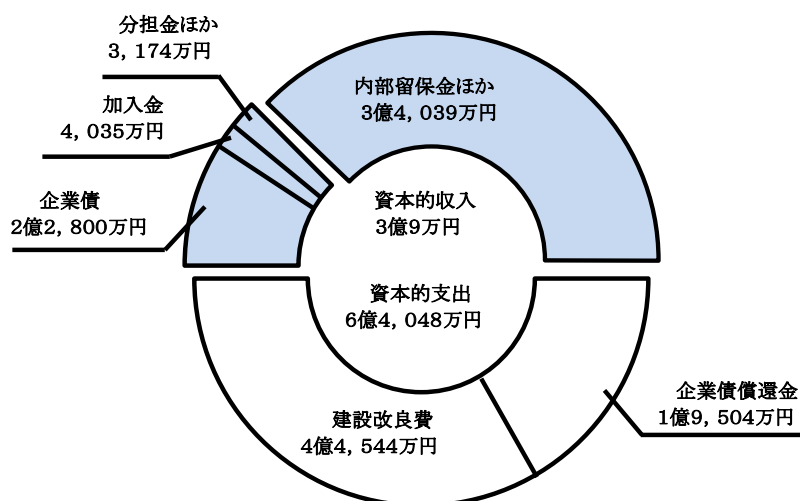
◆純利益(損失)と繰越利益剰余金の推移

(単位: 万円)



※H21 (160 万円), H22 (530 万円) は減債積立金あり。

◆資本的収支(消費税込み)



資本的収支は、資金の借入(企業債)や工事分担金などの収入と、水道施設の新設・更新工事などに係る費用や企業債の元金償還に要する経費などの支出からなります。

平成25年度は、友岡地内配水管新設工事(その2)、長法寺川原谷～天神4丁目地内配水管布設替工事、開田4丁目地内配水管布設替工事、天神4丁目地内配水管布設替工事、平成23年度からの繰越工事で北配水池築造工事、平成25年度から3カ年継続費で北受水ポンプ場新設工事などを行いました。これに非常時用の東第2浄水場発電機燃料槽増設などの固定資産取得費と事務費を合わせ建設改良費は4億4,544万円となりました。また、企業債の元金償還金が1億9,504万円で、支出総額は6億4,048万円となりました。

これらに充当する資金として、企業債(借入金)が2億2,800万円、加入金が4,035万円、分担金ほかが3,174万円で、収入総額は3億9万円となりました。収入総額から支出総額を差し引いた額は3億4,039万円の不足額となり、損益勘定留保資金(減価償却費などの現金を伴わない費用)などで補てんしました。

◆資本的収支の対前年度比較

(単位:万円、%)

区分	H25 年度	H24 年度	増減額	増減率
資本的収入	30,009	28,558	1,451	5.08
企業債	22,800	22,000	800	3.64
加入金	4,035	2,224	1,811	81.43
分担金ほか	3,174	4,334	△ 1,160	△ 26.77
資本的支出	64,048	68,691	△ 4,643	△ 6.76
企業債償還金	19,504	21,708	△ 2,204	△ 10.15
建設改良費	44,544	46,983	△ 2,439	△ 5.19
資本的収支不足額	34,039	40,133	△ 6,094	△ 15.18